

www.accutone.co.jp

Accutone Technologies Limited.
Clearer Communication Brings People Closer.

Accutone Technologies社正規国内代理店
株式会社ケイエスネット

「経営革新計画承認企業 埼経革第1087号」
〒338-0002 埼玉県さいたま市中央区下落合5-10-5 V.I.P308
電話番号: 048-855-2241 サポート窓口: 048-788-5151
受付時間: 平日10時~18時 Eメール: info@accutone.co.jp

ヘッドセット

Accutone業務用ヘッドセット
一般的な使用ガイドライン

i. 業務用ヘッドセットの基本的な理解

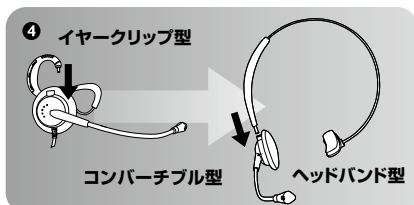
※ 電話機とヘッドセットとのペアリング

電話機はそれぞれ搭載している機能や仕様が異なります。ヘッドセットを接続するための専用端子が用意されている電話機や、送話音量/受話音量を調節するための増幅機能を持っている電話機もありますが、多くの電話機にはそのような機能がありません。ヘッドセットは受話器の代わりに使用するものですが、電話機本体と受話器との接続仕様や受話器のマイク感度/スピーカー感度はさまざまで、共通仕様になっていないことを理解しておく必要があります。Accutone ではヘッドセットを一部の電話機と直接接続できるケーブルを用意していますが、ほとんどの場合はこのような仕様の違いを吸収するための装置、つまりヘッドセット用アンプや電話機適合アダプタを介して接続することになるのです。

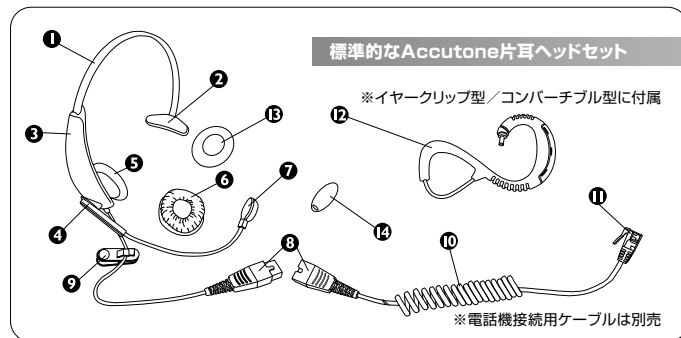
※ 業務用ヘッドセットの種類

業務用ヘッドセットは、コールセンターやオフィスのさまざまなニーズに応えるために、片耳式と両耳式（音声はモノラル）の両タイプが用意されています。騒々しい環境で通話に集中するのに適した両耳式に対し、片耳式は周りの音に気づきやすいように配慮されているものです。また業務用ヘッドセットは一般的に、その着用スタイルにより、ヘッドバンド型とイヤークリップ型の二種類に分かれますが、Accutone ではさらにとちらのスタイルにも変更可能なコンバーチブル型も提供しています。

ご注意) 2007年11月現在、日本国内での販売はヘッドバンド型のみで、イヤークリップ型およびコンバーチブル型を取り扱っておりません。

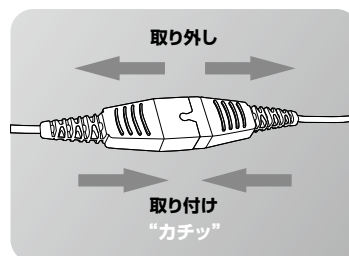


※ 業務用ヘッドセットの主なパーツ名称



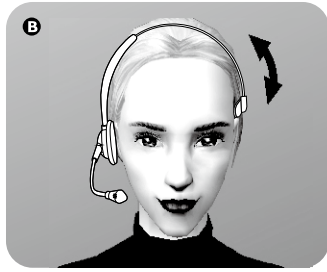
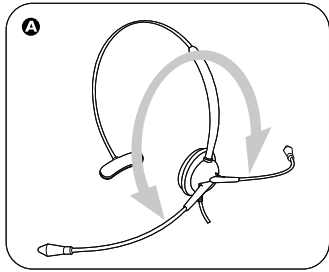
- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. ヘッドバンド - 金属またはプラスチック製 | 8. クイック・ディスコネクタ (QD) |
| 2. スタビライザーパッド | 9. 服留め用ケーブルクリップ |
| 3. ヘッドセットボディ | 10. QDコイルケーブル |
| 4. 回転式マイクブーム | 11. RJ-11 (4P4C) ミニモジュラーコネクタ |
| 5. スピーカーチャンバー | 12. フレキシブルイヤーループ |
| 6. 合成皮革製イヤークッション | 13. ウレタン製イヤークッション |
| 7. マイクカプセル | 14. マイク風防 (マイクキャップ) |

※ クイック・ディスコネクタ (QD) の使い方



Accutone 業務用ヘッドセットにはすべて、ヘッドセット部分を各種コイルケーブルにすばやく取り付けたり取り外したりするための機構、クイック・ディスコネクタが装備されています。この仕組みのおかげで、ヘッドセットを装着したままの状態でも短時間席を外すことが可能です。再度取り付ける場合は、図に示すように軽くクリック音が鳴るまで差し込んでください。

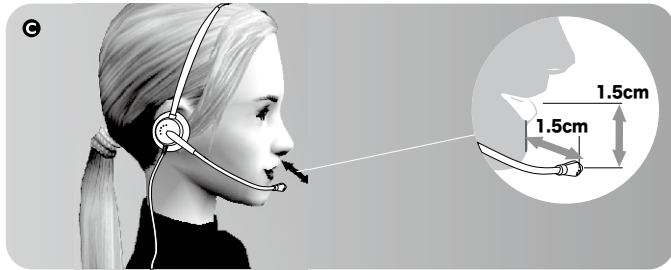
ii. 業務用ヘッドセットの装着



- A. ヘッドバンド型の場合、図の通り、マイクブームを上方向に回転させることで左右どちら側にもマイク位置を変更できます。好みに応じて位置を選択してください。
- B. スピーカーチャンバーが完全に耳を覆うようにヘッドセットを装着してください。スタビライザーパッドが耳上の快適な位置にくるようにヘッドバンドの長さを調節します。

※ 回転式マイクブームの使い方

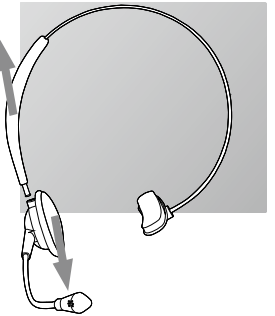
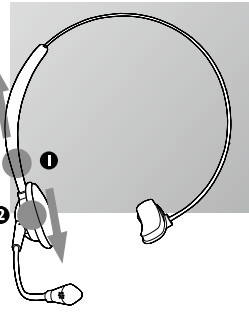
Accutone の業務用ヘッドセットには柔軟性のある回転式マイクブームが装備されているため、図で示すように、マイクカプセルを最適な位置に簡単に調節できます。



マイクカプセルは口から約 1.5cm の位置に調整します。またマイクカプセルのトップ部分は口に向くようにしてください。

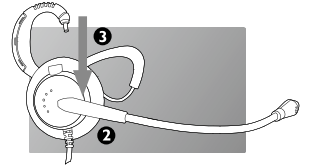
※ コンバーチブル型ヘッドセットの切り替え - ヘッドバンド・スタイル

図で示す2つの箇所（グレイ色のポイント）を軽く持ち、スピーカーチャンバー（2）から垂直方向にヘッドバンド（1）を引き抜きます。ヘッドバンドを戻す時は、スピーカーチャンバーの内側にあるゴム製リングに軽く挿入してください。

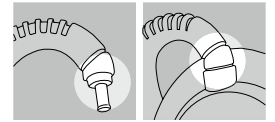


※ コンバーチブル型ヘッドセットの切り替え - イヤークリップ・スタイル

イヤークリップ型の装着スタイルに切り替える時は、図で示す通り、イヤークリップ部品（3）先端のプラスチックロッドをスピーカーチャンバー（2）の内側にあるゴム製リングに挿入してください。軽く押すだけで簡単に入ります。抵抗を感じたらそれ以上無理に押し込まないでください。



正しく組み立てられた場合は、先端部分が完全にスピーカーチャンバーの中に入っているはずです。



※ イヤークリップ型の装着

イヤークリップ型ヘッドセットを正しく装着するには、まずイヤークリップ部品の下側を持って後ろ側に引っ張り、耳の上側からスライドさせて耳の後ろを沿わせるようにします。次いで、イヤークッションが耳の中央に収まるようにスピーカーチャンバーの位置を調整します。

マイクブームを回転して、マイクが正しい位置になるように調整してください。イヤークリップ部品の取り付け角度を変更し、マイクブームを反対側に回すことで、左右どちらの耳にも装着することができます。



iii. 業務用ヘッドセットと電話機適合アダプタの接続

※ 電話機適合アダプタの接続

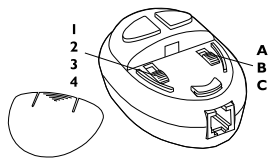
※C100 または C333 とヘッドセットを接続するには別売の QD コイルケーブルが必要です。



図の通り、アダプタ装置のアイコン表示に従って接続します。C100 には受話器との接続切り替え機能が装備されていますが、C333 にはありません。

※ C100アダプタの設定

C100 アダプタは電池等の電源が不要です。まずヘッドセット/受話器ボタンがヘッドセット側になっていて、ミュートボタンがオフで通話ポジションになっていることを確かめてください。



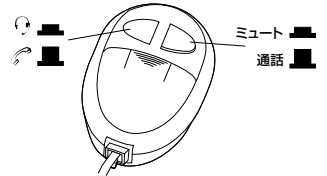
C100 のカバーを開けます。1/2/3/4 および A/B/C と印が付いた2種類の適合セレクタが見えるはずです。このセレクタは組み合わせにより 12 パターンの適合設定ができ、接続信号レベルで電話機本体とヘッドセットとの互換性を確保するものです。組み合わせを「4-B」に合わせ、受話器を持ち上げてオフフック状態にしてください。

業務用ヘッドセットを装着せず、イヤークリップ部分を手で持って耳にあて、クリアなダイヤルトーンが聞こえか、次の設定を順に試します：4-B、4-A、どちらも駄目な場合は2-A、2-B、まだ駄目な場合はさらに3-B、3-A。どちらもクリアに聞こえる場合は、実際に通話してみても自分の声が相手側に正しく伝わる方を選びます。上記の組み合わせでクリアなダイヤルトーンが聞こえない場合のみ、他の組み合わせをお試しください。なお電話機本体と接続信号が合っていないと異常音が聞こえる場合がありますので耳を痛めないようにご注意ください。簡易版である C333 にも2種類のセレクタが付いていて、設定方法は C100 と同じです。

ご注意)C100 および C333 は、電話機本体とヘッドセットの接続信号のみを調整するもので、ヘッドセットのマイクの感度を調節したり、スピーカーの感度を調節する機能はありません。接続信号の調節だけでは適切な音量バランスにならない場合、ヘッドセット用アンプを使う必要があります。

※ C100アダプタの操作

ヘッドセット/受話器切り替えボタンを押すと、ヘッドセットで通話が可能になります。再度ヘッドセット/受話器切り替えボタンを押すと、ヘッドセットの代わりに受話器で通話が可能になります。



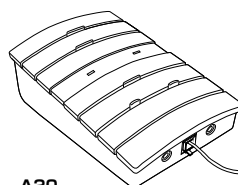
ミュート/通話切り替えボタンを押すと、マイクの音声は切れ、通話保留状態と同じようになります。通話保留中に電話相手はこちらの声を聞く事ができませんが、こちらには相手の声が聞こえます。通話を再開するには、再度ミュート/通話切り替えボタンを押してください。ボタンが通話ポジションに戻ります。

iv. ヘッドセット用アンプの選択と接続

※ 電話機専用アンプ vs 電話機/PC用マルチメディアアンプ

ヘッドセットメーカーが提供するヘッドセット用アンプは大半が電話機専用のもので、PCとの接続切り替え機能を装備した製品は一般的に高価です。しかしオフィスには従来の固定回線だけでなく、VoIPソフトフォンを使った通信環境が急激に普及し始めています。Accutone ではオフィスでフレキシブルにヘッドセットを使用できるように、コストパフォーマンスに優れた高性能マルチメディアアンプをラインナップしました。このアンプ製品を導入すると1つのヘッドセットを電話機とパソコンの両方で利用できるようになり、オフィス内に強力なハンズフリー環境を構築することができます。

※ 電話用ヘッドセットとアンプの接続



Accutone 業務用ヘッドセットは Accutone アンプとすべて完全な互換性があり、接続方法も同じです。接続はアンプ前部のヘッドセット用ジャックに接続された QD ケーブルのコネクタにヘッドセットのコネクタを差し込みます。設置と設定に関する詳細についてはそれぞれ製品マニュアルをご参照ください。

A20 電話機/PC用マルチメディアアンプ

ヘッドセット接続

* 通話中にミュート/通話切り替えボタンを押して、マイクの音声を切ることができます。ミュート時には電話の相手はこちらの声を聞く事ができませんが、こちらには相手の声が聞こえます。通話を再開するには、再度ミュート/通話切り替えボタンを押します。

* 電話機/PC切り替えボタンを押すと、同じヘッドセットをパソコン側でも使用可能になります。電話機だけでなく VoIP ソフトフォンも使用している場合に便利な機能です。

商標および所有権： Accutone およびそのロゴデザインは Accutone Technologie 社の商標もしくは登録商標です。本ユーザーガイドの複製および転載を禁じます。